

小学校再編の考えは

答 29 年度中に再編案を提案したい



中富 正徳 議員

問 平成20年に小学校再編整備計画が答申されたが、その後どうなっているのか。

市長 再編は、子どもにとってよりよい環境を実現する上でどうあるべきかという観点で進める。

29年度中に、市の方針について議会や市民の意見を伺う場を設定し、再編案を提案したい。

問 複式学級(※)の可能性があるかないかが再編の基準になっているのはおかしいのでは。現在1クラスの最少人数は6人だが、どう考えているのか。

教育委員会次長 複式学級にならないなら再編はしないという直結的な考え方は持たずに議論している。

教育長 少人数学級には、個別に指導が徹底できるというメリットがある。デメリットとしては、例えば6人のうち問題行動を起こす子どもが1人いた場合、周囲に与える影響が大きいことなどが考えられる。

教育ビジョンの

「生き抜く力」は

問 筑後市の教育ビジョンである児童にとつての

「生き抜く力」は一定集団の中で身につくのでは。**教育長** 「生き抜く力」はどういう手段であつても身につくと思つていないとは思つていない。

※小・中学校において二つ以上の学年の児童・生徒を一つに編成した学級。



小学校再編は市の重要な課題

平和授業に「語り部」活動を



弥吉 治一郎 議員

問 生涯学習人材バンクに原爆被爆の語り部としてボランティア登録されている被爆者がいる。この人は毎年、広川中学校の平和授業で自分の被爆体験を話されている。8月に行われている小中学校での平和学習に原爆の語り部として話してもらふよう要請しては。

市長 広島、長崎へ原爆が投下された8月の初旬に、毎年平和学習を行っている。世界で唯一の被爆国であるわが国において、その体験を子どもたちに伝えることは大変意義があることだ。

義があることだ。

学校教育課長 昨年度は古島小学校の平和学習で被爆体験を話してもらつた。校長会等で語り部活動の場を増やせるよう要請したい。

また今年8月4日にサザンクス筑後で行う平和事業で講演してもらう予定。小中学校の児童・生徒が保護者と一緒に参加してもらえようと呼びかける。

答 校長会等で要請したい

行政区長の報酬は見直す

報酬は見直す

問 行政区長の業務を見直し、報酬を減額するのの方針だが。

市長 区長報酬の対象となる業務を減らし、見直しを行う予定。今後、区長会とも協議し、近隣自治体の行政区長報酬等を参考にしながら、検討していく。



平和を考える市民のつどいのチラシ (8月4日開催予定)